

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Apple Junior 相模原駅前教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年6月21日		～ 2024年7月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49人	(回答者数) 39人
○従業者評価実施期間	2024年7月20日		～ 2024年7月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 16人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年7月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数	退職・産休などによる従業員の不足に対して、事前にスタッフを充足させる為に募集・採用を行っている。	配置数としては問題ないが、年齢の若いスタッフが多く、OJTや研修など療育の質を高める取り組みが必要。
2	（子ども及び保護者の）満足度	療育と言う教育施設ではあるが、サービス業の一環として、保護者様から信頼を得る事が出来るようにニーズの把握や問題発生時の対応について優先順位を高く対応している。	保護者のニーズを最優先するあまり、特に声が上がっていない事案（保護者会や地域との交流など）について、優先順位が下がっている。サポートの幅を広げる為にニーズのみを優先する事は改める必要があると感じている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携全般（病院、地域住民・地域子ども）	教室が出来て1年目であることもあり、外部＝自己完結しない取り組みは弱いと感じている。	毎年少しずつでも外部との関係性を新たに構築し、定期的なイベントとして導入していきたい。
2	非常時の対応に関する評価が低い	非常食の充実など必要な課題はあるが取り組み自体は実施している。情報開示・伝え方なども弱く、正しく理解されていない部分も大きい。	非常時の対応について、定期的な情報共有、教室内掲示、集団プログラムの実施回数増加など情報伝達に努める必要がある。
3	放課後等デイサービスは児童発達支援に比べ、子どもの体が大きく、運動量もある為、少し教室が小さいという声がある。	教室自体は全体で150㎡以上あり、決して小さくはない。ただ、使い方の部分で一時的に2階だけまたは3階だけに人が集まるタイミングがあり、その際は狭く感じる。	教室の広さを広げる事は現実的に難しい。運用を見直し、教室全体を使えるように検討する。